令和5年度第1号（55号）
岩手県立江刺病院広報
# はばたき
福利厚生広報委員会
令和5年8月

【基　本　理　念】
私たち職員は、県営医療の根幹である「県民に平等な医療の恩恵を」の精神を受け継ぎ、患者さんに「誠実と医学で支える良質な医療」を提供し、地域の人々に愛される病院づくりを進めます。

## 雑　感

院長　川村　秀司

新型コロナウイルス感染症が５月８日から５類となり、様々な規制が撤廃されました。それにより待ってましたとばかり国民の行動が活発となり始めました。確かに自粛でいつまでもくすぶっているわけにもいかず、経済を回していかなければなりませんし、ストレスも発散したいでしょう。中には今までと変わらずにマスク着用等の感染対策を継続し、慎重な方もおられます。しかし、世の中的にはコロナ前の生活に戻りつつあるのは皆様がご承知の通りです。

５月下旬、遂に私もコロナに感染してしまいました。感染経路で思い当たるのが新幹線か飛行機内と思いますが、マスクを外して飲食はしましたが他の感染報告と同じように実のところ感染経路は全く分かりません。今回の感染を機会に、症状が出現した翌日、5日目、7日目とコロナ抗原定量検査を施行してみました。抗原量は５日目がピークで、７日目でも陽性でした。厚労省は「発症の翌日から５日間は外出を控えるほか、症状が軽くなってから24時間程度は、外出を控えることが推奨される。」と判断の参考にしてもらうための目安となる考えを示しましたが、この“控える”という個人の判断がくせ者で、はたして世間一般がしっかりと遵守しているかどうか疑問です。私も３日目で解熱したので外出しても良いのではと錯覚したものでした。今沖縄が他県より突出して感染が蔓延しています。その中に旅行者も多数含まれていると思いますが、軽快するまでそのまま沖縄に滞在しているわけでもなく、本土に帰って感染を広げていると予想されます。さらには全国で症状が出ても検査の自己負担を気にして検査控えの方が少なくないことも感染拡大の原因にもなっているとのことです。既に第９波が到来しているとも報道されており、誰もがいつ感染してもおかしくない状況になっています。まだまだ気を緩めることはできません。

このように感染の不安もさることながら、我々はいつも何かしら不安の渦中にいます。物価高、年金、老後、介護、少子高齢化、地球温暖化、マイナンバーカード、働き方改革、北朝鮮のミサイル実験、防衛費問題、地球温暖化、最近では線状降水帯による土砂災害、地球沸騰化等、挙げればきりがありません。医療界でも少子化対策の財源確保で社会保険料の増額、社会保障分野の削減等で今後厳しい状況となることが予想されます。それにより医療経済は大幅に悪化、厳しい運営を強いられるかと思います。なんとかならないものかと思いながら自分１人の力では解決出来ない不安の中にいながらも日々に追われてしまっている自分がいます。しかしながらこのような状況でもじっとしているわけにはいきません。不安の中でも自分を見失うことなく生活する（働く）ことです。我々は何の為に生きているのでしょうか？　それは・・・人生を楽しむため、幸せになるためで、皆それに向かって日々努力・生活しているのです。決して仕事のために生きているのではなく、あくまでも仕事は生きる“手段”に過ぎないのです。そのために限られた自分の時間を有効に使うこと、昔から言われているように時間は自分で作るもの、メリハリをつけて

仕事をするということです。何を伝えたいのかと言いますと、働き方改革はただ単なる目先の時間感覚だけではなく、如何に広い視野で自分の大切な時間を確保し使うかということです。皆さん各々に紆余曲折の人生がある（あった）と思いますが、最後には「良い人生であった、悔いは無い」と思えるような「思い出」を作ってみてはどうでしょうか？　年齢とともに、やりたいと思っていることができなくなる可能性があります。年をとるにしたがって生活費は減る傾向にありますし、お金の価値は加齢とともに低下ししていきます。あるデータによると収入の８割以上が公的年金だけという世帯の割合は58.2%と約６割を占めていることから、極端な贅沢をしなければある程度の貯蓄で普通に生活出来る事を示していますのでこれを参考にしてみてはいかがでしょうか。生き甲斐は人それぞれですので、健康を失わないうちに人生計画を立ててしっかりとお金を有効に使い、自分が良いと思う方向に実行してみることをお勧めします。

９月に病院機能評価を受審となります。少子高齢化により日々医療・介護は変化してきている中で今まで我々が行っていたことが確認、試されようとしています。この準備に当たり、各部署で御尽力を頂いておりますが、当日を楽しみに柔軟な対応で挑みたいと思います。

## ～新採用職員等紹介編～

今年度、新採用となった職員を紹介します。

**大須賀　優（ｵｵｽｶ ﾕｳ）** ５病棟　看護師
①出身校等　一関看護専門学校
②出身地等　宮古市
③好きな食べ物、飲み物等　トマト、ビール
④紹介したい本や音楽、映画等　進撃の巨人
⑤マイブーム等　サウナで整うこと
⑥奥州市または江刺病院に来て、発見したことや不思議に思うことなど
　特にないっすかね（笑）
⑦自己アピール等、自由に
・一日働いても足が臭くないこと！
・汗かかないこと！

**高橋　千裕（ﾀｶﾊｼ ﾁﾋﾛ）** ３病棟　看護師
　私は、4月から看護師として働き始めました。
　初めは分からないことばかりで毎日不安でしたが、先輩方に教えていただきながら、少しずつではありますが業務を覚えることができています。今後も看護師として日々成長できるよう、学習と実践を積み重ね、精進していきたいと思います。
　また、地元を離れ、新しい土地での生活に慣れないこともありますが、少しずつ奥州市の魅力も探しながら奥州市のことを知っていきたいと思います。

# ～　新任のごあいさつ　～

まだまだ暑さ厳しい毎日ですが、みなさんいかがお過ごしでしょうか。
４月から新しく着任しました総看護師長を紹介いたします。

４月から江刺病院へ異動となりました、総看護師長の佐々木美江子です。
産まれも育ちも奥州市です。
５月に江刺甚句祭りへ参加し、久しぶりに祭りのにぎわいを感じ、楽しい時間を過ごさせて頂きました。
江刺病院看護科理念「いのちに向き合い、人としての尊厳を支える看護を提供します」のもと、地域のみなさまが安心して暮らすことができ、地域のみなさまに愛されつづける病院づくりを進めてまいります。

令和5年5月4日

## 今年の甚句まつりは4年ぶり且つ記念すべき第50回目!!

### 天気は晴れ☀　春の穏やかな日差しの元、総勢43名で踊ってきました。

今回、江刺病院の地域活動として江刺甚句まつりに参加させていただきました。自分も含めどのような踊りであるのか知らない職員も多く、短期間で踊りを覚えられるのかとても不安になりながらもお昼休みを返上して練習に励みました。

当日、病院前のロータリーで患者さんに踊りを披露したあと会場へ向かうと、沿道にはたくさんの観客がおり緊張が一気に高まりました。初めこそ辿々しかったものの、次第に一体感が増していきのびのびと踊ることができました。祭りが終わり、病院に戻る頃には清々しい達成感に包まれていました。

このような祭りへの参加は初めてでしたが、江刺甚句まつりに参加することで改めて江刺病院の一員であるということを自覚することができました。今後も江刺病院で勤務する者としてこのような地域のイベントには積極的に参加し貢献していきたいと思います。

参加者全員で記念撮影

いよいよ出発!！

# ～BLS研修～

２月２７日から３月３日にわたり全職員対象としたBLS研修が行われました。BLSとはBasic Life Support の略で、日本語では「一次救命処置」と言います。今回の研修では人が急に倒れたり、倒れている人を発見した場合に救急隊や医師が到着するまでに行う対応を学びました。

実技を行う前に感染予防を踏まえた救命救急法の動画を視聴し、要点を確認後実技に臨みました。実技では1グループ4～5人で心肺蘇生を行う人、AEDを持ってくる人、救急車を呼ぶ人等、ひと通りの役割を体験し、一連の流れを学びました。心肺蘇生を行う際、感染予防対策として傷病者がマスクをしていない場合に、傷病者の口と鼻をハンカチなどで鼻と口を覆うなどこれまでと違うコロナ禍ならではだと感じました。

BLS研修は私自身数年ぶりで受講しましたが、頭で考えるのと実際やってみるのでは思うように体が動かないものです。今後も定期的に研修を受け、もしもの時に率先して行動できればと思います。

（文責　臨床検査技術科　高橋）

講義

↓

実技

# 岩手県立江刺病院　◆診療案内◆

令和5年8月1日

| 診療時間 | 月曜日 | 火曜日 | 水曜日 | 木曜日 | 金曜日 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 地域医療科 | | | | | 川村　秀司 | |
| 消化器内科<br>8:30～11:30 | | 遠藤　龍人<br>(岩手医大) | | 岩手医大医師<br>（交替） | | 予約可 |
| | 松本　洸 | 小原　優 | 小原　優 | | 小原　優 | |
| | 勝又　宇一郎<br>（胆沢病院）<br>（第1・3・5週） | 野呂　明弘<br>(応援医師 ) | 小野寺　美緒<br>（胆沢病院） | 小原　ゆき子<br>(応援医師)<br>(第2・4週) | 小原　ゆき子<br>(応援医師)<br>(第2・4週) | |
| 健診 | 一ノ瀬　髙志 | 一ノ瀬　髙志 | 一ノ瀬　髙志 | 一ノ瀬　髙志<br>(第1・3・5週) | 一ノ瀬　髙志 | |
| 呼吸器外来<br>13:30～15:00 | | 一ノ瀬　髙志 | | | | 予約可 |
| 循環器内科<br>8:30～11:30 | 砂子澤　茂昭 | 砂子澤　茂昭 | 砂子澤　茂昭 | 砂子澤　茂昭 | 砂子澤　茂昭 | 予約可 |
| | | | 中川　誠<br>(胆沢病院) | 山崎　琢也<br>(応援医師) | | |
| 小児科<br>14:30～16:00 | | | | | 北上済生会医師<br>(交替) | 小児科一般診療 |
| | | | | | 慢性疾患外来 | |
| 乳児健診<br>/予防接種<br>13:30～14:30 | | | | | 乳児健診 | ※　予約制 |
| | | | | | 予防接種 | ※　予約制 |
| 外科<br>8:30～11:30 | 石黒　保直 | 川村　秀司<br>/県立紫波地域診療センター医師(順不定) | 吉田　徹<br>(中部病院)(第1･3･5週)<br>石黒　保直<br>（第2・4週） | 川村　秀司 | 岩手医大医師<br>(交替) | 予約可 |
| 整形外科<br>8:30～11:00 | 佐々木　悠相<br>(胆沢病院) | 宗像　秀樹 | 宗像　秀樹<br>（第1・3・5週） | 宗像　秀樹 | 宗像　秀樹 | 予約可<br>新患受付は<br>10時30分まで |
| | 大竹　伸平<br>（岩手医大）<br>(第2・4週) | | | | | |
| 脳神経外科<br>8:30～11:30 | | | | 岩手医大医師<br>(交替) | | 予約可 |
| 皮膚科<br>8:30～11:30 | | 岩手医大医師<br>(交替) | | | | 予約可 |
| 泌尿器科<br>8:30～11:30 | 佐々木　英夫 | 那須　崇志<br>（奥州病院） | 佐々木　英夫 | 佐々木　英夫 | 胆沢病院医師<br>（交替） | 予約可<br>新患受付 11時まで |
| 産婦人科<br>8:30～11:00 | | | 岩手医大医師<br>（交替） | | | 予約可 |
| 眼科<br>8:30～11:30 | 村上　陽子<br>（完全予約制） | 村上　陽子 | 村上　陽子 | | 村上　陽子 | 予約可/新患受付は10時30分まで/**眼科は紹介患者は要予約です** |
| リハビリテーション科<br>8:30～11:30 | 清水　幸彦 | 清水　幸彦 | 清水　幸彦<br>(第1・3・5週) | | | 予約可 |
| もの忘れ外来<br>8:30～11:00 | | | | 鬼澤　民雄<br>(胆沢病院) | | 新患：１日１名<br>新患受付 9時まで<br>※必ずご家族とおいでください |

※　新患の受付は8時30分からです。

・　学会等で担当医師が不在になる場合や診療日が変更となる場合は、事前に掲示してお知らせします。

TEL0197-35-2181・FAX0197-48-2281